

第31号

令和7年3月発行
関市子ども育成協議会
【事務局】
関市若草通2丁目1番地
関市生涯学習課内
TEL0575-23-7777

インリーダー研修 (野外炊事)



縄文土器づくり体験 (土器焼き)



題字：上田 清四

令和6年度関市子ども会に寄せて

関市子ども会育成協議会会長 足立 雅彦

保護者の皆さま、地域の方々と共に花みこしを実施することができました。一生懸命みこしを引っ張る姿はとても頼もしく、子どもたちの成長を感じることができました。

コロナ禍で中止していた行事が復活して少したちます。今でも感染症は心配ですが、子どもたちの元気な姿、花みこしを見に来て下さる地域の方々に感謝するとともに、何とかその思いに応えて今後も子ども会として活動を継続出来たらと思います。

【山村 和哉】

保護者の皆さま、地域の皆さま、関市子ども会育成協議会の活動に、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、育成協議会ならびに各子ども会の役員におかれましては、子ども会の先頭に立って活動頂いていることに大変感謝しております。

豊かな自然体験や健全な「遊び」「遊びを通して、人と人との「つながり」を大切にし、あわせて「地域で子どもを育てる」という子ども会の理念を達成するための活動を本年度も実施して参りました。

昨年六月に関市中池自然の家にて開催した「関市インリーダー研修会」では、一泊二日の日程で公園内のオリエンテーリングや野外炊事（カレーライス作り）などを実施し、参加した小学生が、自分たちの子ども会の中心となって活動するために必要な積極性や自発性を養う場となりました。

十一月の「関ジュニアリーダーズクラブ秋の研修会」では、市内の小学生・ジュニアリーダーとともに郡上市白鳥のジュニアリーダーも参加し、学校・地域を越えた子どもたちの交流の場をもつことができました。

十・十一月に塚原遺跡公園にて実施した「縄文土器づくり体験」では、多くの小学生・保護者に参加頂き、地域の

関市子ども会育成協議会会長 足立 雅彦

歴史に触れ、親子で創作に親しむ場となりました。

また、九月に東海北陸ブロックの子ども会大会が岐阜市で開催され、本会役員を派遣いたしました。各地域の代表者の先進的な取り組みを拝聴し、他の参加者と意見交換を行った結果を関市子ども会での活動に還元したいと考えております。その他、岐阜県の子ども会育成大会が美濃地区（関市・美濃市・郡上市）を当番地区として六月に開催すべく準備を進めて参りましたが荒天により残念ながら開催中止となりました。

二〇二〇年からのパンデミックによる行動制限・自粛によって、子ども会の活動も大きな空白が生じました。各子ども会の皆さまにおかれましては、コロナ禍前の活動を取り戻すことは容易ではないことと存じます。また、子どもの減少により組織の運営にもさまざまな課題も多くあつたかと存じます。育成協議会としても、各子ども会の皆さまの抱える課題に耳を傾け、寄り添いながらお互いに発展していく組織にしていきたいと考えております。

来年度も引き続き、関市子ども会育成協議会ならびに各子ども会の活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びの言葉とさせていただきます。

田原地区

子ども会でバリスタ体験

コロナが5類になり2年目。田原地区でも子ども会活動が以前のようにできるようになってきました。

小迫岡子ども会では小瀬にあるカフェダチさんに協力していただき、バリスタ体験をしてきました。初めてコーヒーを飲むよ、という子がほとんどでしたが、スタッフさんからコーヒーの歴史などについて教えていただいた後コーヒードリップに挑戦。慎重にお湯を注ぐ子、お湯をどんどんいれる子、いれ方を教えてもらいながら入れた一杯目は自分たちで、二杯目はお母さんたち保護者に飲んでもらいました。自分で入れたコーヒーはまずブラックで、その後お砂糖やミルクを入れて飲んでみると「おいしい!!」と喜んで飲む子も。付き添った保護者も子どもたちが淹れてくれたコーヒーを美味しくいただきました。部屋全体がコーヒーのいい香りに包まれてリラックスしながら、また子どもたちのワイワイとした楽しい雰囲気の中で体験することができました。

私自身子ども時代を関市で過ごしましたが、親になって初めて知る関市のすてきなところ、魅力を子どもたちと一緒に今、実感しています。これからも地域や家庭で子どもたちと共にさまざまな体験を通して楽しみながら学んでいきたいと思います。

【小川 久美子】

富岡地区

大岡山探検隊

10月に、私の住んでいる富岡地区では毎年恒例の「大岡山探検隊」というイベントが行われています。この一大イベントにボランティアとして携わらせて頂くことになりました。

そもそも「大岡山」とは、富岡小学校近くにある山の名前で、登山もできるそうです。

初参加の子もいれば、何回も参加している子もいますが、全員に課せられたミッションは同じです。富岡ふれあいセンターをスタート地点とし、いくつかのグループに分かれて次々と出発します。みんなワクワクしたい顔をしていました。

途中のミッションをクリアしながら大岡山を登り終えた子どもたちが、どんどん麓に戻ってきます。そこにミニ屋台村を設置して焼き芋やお団子などを食べたり、段ボールすべり台で遊ぶことができました。

大自然と触れ合いながら探検し、その中でおいしいものを食べ遊び、子どもたちの笑顔があふれ、そしてまた大人も笑顔になる。

この富岡が活気づく、そんな素晴らしい活動がずっと続くことを願っています。

【大前 靖子】

武芸川地区

地域行事「花みこし」を通して

今年も子どもたちの元気な掛け声のもと、地域の方々と共に花みこしを実施することができました。一生懸命みこしを引っ張る姿はとても頼もしく、子どもたちの成長を感じることができました。

コロナ禍で中止していた行事が復活して少したちます。今でも感染症は心配ですが、子どもたちの元気な姿、花みこしを見に来て下さる地域の方々に感謝するとともに、何とかその思いに応えて今後も子ども会として活動を継続出来たらと思います。

【山村 和哉】



報告

今年度の子ども会関連の表彰者について

今年度、子ども会関連で表彰を受けた団体・個人を報告いたします。(敬称略)

●全国子ども会連合会表彰

関市子ども会育成協議会会長 足立 雅彦 (あだち まさひこ)

●東海北陸地区子ども会連絡協議会表彰

関市子ども会育成協議会事務局長 羽田野 雅樹 (はたの まさき)

●岐阜県子ども会連合会表彰

(団体表彰) 武芸川地区子ども会
(個人表彰) 関市子ども会育成協議会本部役員 永田 陽一 (ながた よういち)
関ジュニアリーダーズクラブ 総山 直希 (ふさやま なおき)

●美濃地区子ども会育成協議会表彰

関ジュニアリーダーズクラブ 本田 陽菜乃 (ほんだ ひなの)
関ジュニアリーダーズクラブ 所 咲帆 (ところ さほ)



各地区子ども会役員より

瀬尻地区 秋の研修会に参加して

5年生になった息子は、感染症などでこれまで子ども会活動に参加できませんでした。初めて参加した子ども会活動が、今年度の「関ジュニアリーダーズクラブ 秋の研修会」でした。私もボランティアとして半日ほど参加したことで見えてきたものがありました。

周りを見て考え、相談して行動に移すこと。

学校生活でも学べる力かもしれませんが、当日初めて会う小学生たちのコミュニケーションの中心となり、グループのメンバーをつなぐシニア・ジュニアリーダーたちの頼もしさに驚きました。帰りに笑顔で「またね!」と新しい友人に声をかける姿を見れば、楽しい一日を過ごせたことがわかります。ジュニアの子がくれた「きっかけ」が大切なのだと感じました。

息子も私も視野が広がる良い機会をいただきました。子ども会活動に携わる皆さま、ありがとうございました。

【渡邊 奈美】

金竜地区 ドッジボール大会

金竜地区は昨年に引き続きドッジボール大会を企画しました。昨年はコロナ流行後5年ぶりの大会で、子どもたちから「楽しかった。また来年も参加したい。」と多くの意見があり、関係者のご協力により実現しました。

普段は同じ学年同士で戦うことしかありませんが、この日は低学年・高学年に分かれ、さらに地区別対抗戦で行いました。

勝って大喜びする子、負けて本気で悔しがる子、肩を組んで大声で仲間を応援する子、どの子も生き生きとまぶしく見えました。

遊びを通して地区の仲間や大人との交流が深まる子ども会の活動は、子どもだけではなく、大人にとっても貴重な経験の場となります。

今後はより多くの方に参加してもらい、活動がさらに盛り上がっていくことを切に願います。

【松田 真二】

倉知地区 倉知久郷子ども会の活動について

だんだんとコロナ前の生活に戻り、子ども会の活動も行えるようになりました。

4月は神輿祭り、7月は夏休みに入り、例年の暑さからラジオ体操を取りやめる地区も増えました。倉知久郷地区では2週間ラジオ体操の期間を設け、子どもたちに頑張ってもらいました。

11月には、くらちふれあい秋まつりがあり、たくさんの子どもたちが輪投げや射的、水ヨーヨーすくいなどを楽しんでいます。

2月には、少し早い歓送迎会でボウリング大会を行います。新1年生は、はじめて上級生たちと顔を合わせます。最初は緊張で口数も少ないですが、ゲームが進むにつれ笑顔が溢れます。

今回、育成会会長として常任理事会への参加や、各行事のサポートなど、とても貴重な経験ができました。

【木下 涼子】

旭ヶ丘地区 子どもの成長

私は、インリーダー研修会に参加しました。

二日間ある研修の中で、子どもたちが考え、主体的に動き、個々の能力がわかっていく研修会ですが、一日目、初めて会う子どもたちが力を合わせ、さまざまな問題をクリアしていく姿に、ひとりひとりの成長を感じることができました。

一つのグループに同行しましたが、初対面ということもあり、よそよそしい感じだったが、ひとつひとつの課題をクリアしていくごとに、ひとりひとりがメンバーを気遣い、個人プレーだった子が歩幅を合わせてチームとなり、とても楽しく過ごす姿がありました。

子どもは今やテレビゲームなどで遊ぶことが多く、外で遊ぶ子どもが少なくなってきました。そんな中、インリーダー研修会に触れ、人を思いやり、個から輪を学び、大人になった時にリーダーシップでチームを大切にできる人に成長することを学べるこの活動は、なくてはならない活動であると思います。

【柴田 泰行】

南ヶ丘地区 縄文土器作り

私自身はボランティアとして参加しました。

始まる前に中学生の子たちと葉っぱを取りに行きましたが、やっぱり中学生の子たちは手慣れたもので、自ら進んで奥の方へ行き、その姿はとても頼もしい姿でした。

土器作りには、息子2人も参加させて頂きましたが、初めての体験で戸惑っている所に中学生の子がアドバイスをしてくれ、息子たちも楽しく参加することが出来ました。

たくさんの親子が参加し楽しんでいる姿がとても印象に残っています。

【玉田 千佳】

下有知地区 一年を通して

今宮子ども会では、4月に子ども神輿、11月にハロウィンの活動を行いました。

子ども神輿では協力して神輿を引っ張り、地域の方々と触れ合うことで協調性が芽生えたと感じました。私も子どもの頃から馴染みもあり懐かしく、見守る立場としてはほっこりしました。

ハロウィンでは、装飾された公民館内で競技を行い、クリアしてもしなくてもお菓子を頂きました。各競技に子どもの担当者が付いており、そこを順番に子どもが回るといいうものでした。笑顔がありとても楽しい時間でした。

子ども会は子ども達が社会性を身に付ける上でとても良い活動だと感じました。学校を離れた環境下で、学年の違う子どもや地域の方々と交流したり、新しい場所で新しい事を体験したりすることで、成長に大きく繋がると感じました。

今後も運営側の負担を分担しながら、継続的に活動していくことを願っております。

【梅村 好希】

関市子ども会の一年間

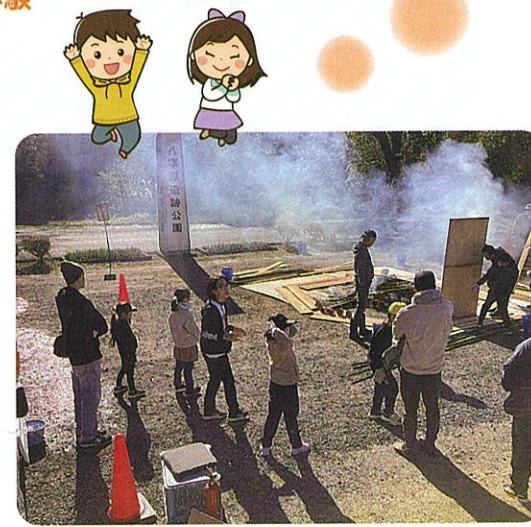
6月 関市インリーダー研修会



11月 関ジュニアリーダーズクラブ 秋の研修会



12月 縄文土器づくり体験 土器焼き



5月 総会 KYT (安全啓発) 講話



10月 縄文土器づくり体験 土器づくり

